

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171100011		
法人名	社会福祉法人 真栄会		
事業所名	グループホーム 菜のはな		
所在地	佐賀県神埼市千代田町詫田989番地		
自己評価作成日	平成28年12月28日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成29年1月26日	外部評価確定日	平成29年3月17日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・利用者との関わり方を大切に、コミュニケーションを図る際は必ず視線を合わせ、表情や声のトーンに留意し穏やかに接するように努めている。ご利用者に応じた個別ケアの提供に努め、その人らしさや楽しみを提供できるようにしている。</p> <p>・月に数回は食事作りやおやつ作りの計画を立案し、普段食事作りに関わらないご利用者の方にも食事作りの場を提供し、役割りをもっていただくようにしている。</p> <p>・気分転換を図ったり季節を感じていただくように、毎月行事計画を立て外出支援を行っている。</p> <p>・健康面で管理者である看護師、主治医と連携を図り、利用者の方の健康管理を行っています。重度化した場合でも、ご家族や医療機関と連携を図り安心して生活を送っていただくように支援しています。</p> <p>・法人全体で年間の研修計画を作成、実施し職員の質の向上に努めています。平成24年度から接遇向上の取り組みを行い、言葉遣いなどのマナー向上に努めている。</p> <p>・平成24年12月特浴を設置。体力低下等で普通浴での入浴が困難となっても、身体に負担なくお風呂を楽しめるようにしている。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホーム菜のはなは、見渡せば自然環境豊かな田園が広がり、のどかで四季の移ろいを感じられるホームである。母体は社会福祉法人で、敷地内には特別養護老人ホームや多種の在宅介護サービスが運営され、ホームは組織のバックアップを受けながら医療との連携や人材育成等に力を入れ、研修も充実している。利用者のその人らしさを尊重したケアを実践するために、認知症ケア専門士の資格を持つ責任者が中心になり、質の高い認知症介護を目指し職員一丸となり頑張っているホームである。</p>
--

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の会議の場では、理念を共有できるようにご利用者本位でサービス提供をしているか話し合いを行っている。	毎月の会議の場では、理念を共有できるようにご利用者本位でサービス提供をしているか話し合いを行っている。	地域密着型としての役割を考えながら、利用者の個性を尊重したケアを理念に掲げ、認知症ケア専門士の資格を持つ責任者が中心になり、会議や日頃のケアの中で職員を育成している。利用者にかかる気づき等、申し送りノートに記入し、職員間で共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人で行う行事(ふれあい祭り・敬老会・避難訓練等)には、地域の方の参加があり交流を図っている。定期的に近所へ買い物・外食に出掛け地域の一員として暮らしていけるように支援している。	法人で行う行事(ふれあい祭り・敬老会・避難訓練等)には、地域の方の参加があり交流を図っている。定期的に近所へ買い物・外食に出掛け地域の一員として暮らしていけるように支援している。	法人として区費を負担し、法人全体で地域と連携を持ち、情報を共有している。利用者は日頃の散歩で地域の方と挨拶を交わし、近所への買い物や外食等で地域と繋がりがながら暮らしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人では行っているが、事業所としては行っていない。今後は地域包括支援センター等と連携を図り地域貢献できるように努めていきたい。	法人では行っているが、事業所としては行っていない。今後は地域包括支援センター等と連携を図り地域貢献できるように努めていきたい。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施。毎月の行事や利用者、職員の活動内容や事故発生状況、研修内容や、家族の要望、サービスに苦慮している点などを報告。委員の方からの意見や助言をもとにケアの振り返りを行いサービスの向上に努めている。	2ヶ月に1回実施。毎月の行事や利用者、職員の活動内容や事故発生状況、研修内容や、家族の要望、サービスに苦慮している点などを報告。委員の方からの意見や助言をもとにケアの振り返りを行いサービスの向上に努めている。	定期的に関係者の出席を得て会議を開催している。事業所の現況を報告し、質問や意見を受け、内容を検討している。これまで、防災や災害時の避難訓練、転倒防止時のセンサー、ケア内容等について会議の中で検討され、サービス向上に活かしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には市町村担当者の参加があつている。認知症地域支援推進委員の方の出席もあり、いろいろな意見をいただき、認知症ケアの向上に努めている。	運営推進会議には市町村担当者の参加があつている。認知症地域支援推進委員の方の出席もあり、いろいろな意見をいただき、認知症ケアの向上に努めている。	市の担当者にはホームの現状を理解してもらうため、運営推進会議で報告したり、疑問やわからないことがあれば、電話や訪問し、アドバイスを受けている。市の職員である認知症地域推進委員と連携して、施設で虐待防止等の研修を実施するなど協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関先の施錠について、表玄関は道路に面して交通量も多く、障がい者施設での事件があつた為、常時施錠している。裏口は夜間以外は開錠している。	玄関先の施錠について、表玄関は道路に面して交通量も多く、障がい者施設での事件があつた為、常時施錠している。裏口は夜間以外は開錠している。	施設の身体拘束廃止マニュアルに基づき、拘束のないケアに取り組んでいる。法人内外の研修に参加し、言葉による拘束がないか日常のケアを職員会議等で振り返り、質の向上に努めている。しかし、昨年7月の障がい者施設での殺傷事件を受け、利用者の安全を守ることを重要と考え、玄関を施錠している。職員は施錠による弊害を理解し、事務室での見守りが可能な場合には開錠する場合もある。利用者の離脱防止のための施錠ではなく、利用者以外へ出る意向がみられた場合には、職員が付き添って出かけている。	玄関の施錠による弊害も認識され、利用者の外出意向には適切に対応されている。今後は、施錠があつても地域住民や家族が気軽に立ち寄ることができるような更なる取組みを期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体で研修を行い、G・H会議では虐待について職員が話し合い、現状のサービスが適切であるか確認を行っている。不穏状態が強い方など1人での対応が困難な方については職員2人で対応を行い、適切な対応に努めている。	法人全体で研修を行い、G・H会議では虐待について職員が話し合い、現状のサービスが適切であるか確認を行っている。不穏状態が強い方など1人での対応が困難な方については職員2人で対応を行い、適切な対応に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	昨年度研修を実施した。それらを活用した支援については実施していない。	昨年度研修を実施した。それらを活用した支援については実施していない。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時にはご家族に契約書や重要事項説明書の内容を十分に説明し、理解されたうえで同意を得ている。又、介護報酬改定時は、改めて説明を行い再度同意を得るようにしている。	契約締結時にはご家族に契約書や重要事項説明書の内容を十分に説明し、理解されたうえで同意を得ている。又、介護報酬改定時は、改めて説明を行い再度同意を得るようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先には意見箱の設置を行っている。日々の面会やサービス担当者会議の際に意見や要望を尋ねるようにしている。家族からの意見や要望があれば、申し送りノートに記載し職員に周知している。会議等で職員に周知徹底しているか確認している。	玄関先には意見箱の設置を行っている。日々の面会やサービス担当者会議の際に意見や要望を尋ねるようにしている。家族からの意見や要望があれば、申し送りノートに記載し職員に周知している。会議等で職員に周知徹底しているか確認している。	面会時には近況を伝え、積極的に意見を聞き、関係の構築に努めている。定期的に法人便りを送付し事業所からも現況を記入している。受診時の結果報告もその都度行い、家族の安心に繋がっている。家族からの要望等は、全職員で共有し、検討している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	目標管理シートや自己評価シート等を活用し職員の意見や要望などを確認し、面談時に話しを聴き、運営に反映するようにしている。	目標管理シートや自己評価シート等を活用し職員の意見や要望などを確認し、面談時に話しを聴き、運営に反映するようにしている。	職員会議では自由に意見を言ってもらえるように質問を投げかけてみる等の工夫をしている。職員には、年2回個人面談を実施し、年間目標達成や、業務内容、ケアへの思い等について話してもらう機会を作っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者、事務長と職員の3者で年に2回面談を行い、目標の進捗状況や職員の考えを聞き、できる限りの改善や整備に努めている。	管理者、事務長と職員の3者で年に2回面談を行い、目標の進捗状況や職員の考えを聞き、できる限りの改善や整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内で毎月の研修計画を立て、職員が担当となりいろいろ分野の研修を実施している。	事業所内で毎月の研修計画を立て、職員が担当となりいろいろ分野の研修を実施している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県老施協開催の研修会やグループホーム長等意見交換会に参加し、情報提供を行ったり、グループ討議での意見等をケアに活用している。	県の老施協での研修会等に参加し、意見交換を行っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前はご本人やご家族に施設見学をしていただいている。不安な事や要望などを確認し、ご本人が安心して生活できるように努めている。	入居前はご本人やご家族に施設見学をしていただいている。不安な事や要望などを確認し、ご本人が安心して生活できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とは話し合う機会を多く持ち、要望などをケアプランに取り組み、安心した関係づくりに努めている。	ご家族とは話し合う機会を多く持ち、要望などをケアプランに取り組み、安心した関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の様子などを聞き取り、家族や利用者の要望を確認している。他のサービス利用が必要な時は居宅支援事業所等と連携し対応している。	入居前の様子などを聞き取り、家族や利用者の要望を確認している。他のサービス利用が必要な時は居宅支援事業所等と連携し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事(洗濯物たたみ、食器拭き)など、ご利用者と一緒にお話しをしながら行い、上手に出来ない箇所をさりげなく手伝っている。	家事(洗濯物たたみ、食器拭き)など、ご利用者と一緒にお話しをしながら行い、上手に出来ない箇所をさりげなく手伝っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気軽に訪問でき、居心地良く過ごせるに飲み物の提供を行っている。法人、事業所内の行事等にも参加して、ご家族と関わりを持って生活できるようにしている。(ケアプラン作成時に家族面会をサービス内容に取り入れ支援を行っている。)	気軽に訪問でき、居心地良く過ごせるに飲み物の提供を行っている。法人、事業所内の行事等にも参加して、ご家族と関わりを持って生活できるようにしている。(ケアプラン作成時に家族面会をサービス内容に取り入れ支援を行っている。)		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の事や生まれ育った場所等を話題にコミュニケーションを図っている。居室には本人、ご家族希望で家族写真等を飾っている。馴染みの方の面会時にはご本人の普段の様子をお話している。	ご家族の事や生まれ育った場所等を話題にコミュニケーションを図っている。居室には本人、ご家族希望で家族写真等を飾っている。馴染みの方の面会時にはご本人の普段の様子をお話している。	家族や知人が訪問しやすい雰囲気心がけ、来訪時には椅子やお茶の準備をしている。近所の方の面会、町内会や老人会の友愛訪問等を受け入れ、関係が継続できるよう支援している。本人の生活歴を把握し、話題に配慮したコミュニケーションに努めている。美容院やお寺参りなど家族の協力を得る場合もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者の関係を把握し、利用者同士が支え合い、関われるようにテーブルの配置等に留意している。ご利用者同士の関わり中でトラブルに発展しないよう、職員が間に入り支え合えるようにしている。	ご利用者の関係を把握し、利用者同士が支え合い、関われるようにテーブルの配置等に留意している。ご利用者同士の関わり中でトラブルに発展しないよう、職員が間に入り支え合えるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、併設の居宅支援事業所のケアマネジャーを通じて情報を提供し相談や支援に努めている。	サービス利用が終了しても、併設の居宅支援事業所のケアマネジャーを通じて情報を提供し相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思い、意思を大切に支援に努めている。会議の場ではひとり、ひとりのケース検討を行い、希望に沿えるようにしている。ご家族の協力が必要な場合は協力を仰ぐようにしている。	個々の思い、意思を大切に支援に努めている。会議の場ではひとり、ひとりのケース検討を行い、希望に沿えるようにしている。ご家族の協力が必要な場合は協力を仰ぐようにしている。	利用者がその人らしく暮らし続ける支援は事業所の理念にも謳われ、実践に努めている。入浴時や夜間帯は個別に話ができる機会と捉え、希望や意向を聴いたり、表情を見ながら気持ちを慮っている。意向や職員の気づきは申し送りノートに記録し共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活歴、入居までの経緯等を本人、ご家族、ケアマネジャー等より情報収集を行っている。内容については職員全員に周知するようにしている。	入居前の生活歴、入居までの経緯等を本人、ご家族、ケアマネジャー等より情報収集を行っている。内容については職員全員に周知するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	管理日誌、長寿記録システム、申し送りノート等で把握に努めている。状態に変化があれば必要に応じて適宜ケース検討を行い、現状に合わせた支援ができるようにしている。	管理日誌、長寿記録システム、申し送りノート等で把握に努めている。状態に変化があれば必要に応じて適宜ケース検討を行い、現状に合わせた支援ができるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月のケース検討によりご利用者の現状や課題について話し合いを行なっている。変化があればご家族にその事を報告し、現状に即した介護計画作成に努めている。	月のケース検討によりご利用者の現状や課題について話し合いを行なっている。変化があればご家族にその事を報告し、現状に即した介護計画作成に努めている。	日頃の関わりの中で本人や家族の意向や希望を確認し、介護計画に反映させている。個性が感じられる計画であり、計画ごとにケア内容や、本人の状況がわかるような日々の記録がなされている。定期的な更新はもとより、必要時に見直し、現状に即した計画を立てている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の状態を長寿記録システムの記録や申し送りに記載し情報を共有している。月1回は介護計画の評価を行っている。介護計画作成時にはアセスメントの再確認、モニタリングを行い、適宜ケース検討を行い見直しを行っている。	個々の状態を長寿記録システムの記録や申し送りに記載し情報を共有している。月1回は介護計画の評価を行っている。介護計画作成時にはアセスメントの再確認、モニタリングを行い、適宜ケース検討を行い見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人のニーズに応じてサービス提供できるように、ご家族やご利用者と話し合いを行い柔軟な支援やサービスを行えるように支援している。	ご本人のニーズに応じてサービス提供できるように、ご家族やご利用者と話し合いを行い柔軟な支援やサービスを行えるように支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所への買い物や外食の機会、又馴染みの美容院の利用など地域資源を活用するようにしている。	近所への買い物や外食の機会、又馴染みの美容院の利用など地域資源を活用するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調に変化があれば、迅速に主治医に報告し適切な対応に努めている。他の医療機関を受診となった場合はご本人、ご家族の希望を聞き、できるだけ希望に沿える医療支援に努めている。	体調に変化があれば、迅速に主治医に報告し適切な対応に努めている。。他の医療機関を受診となった場合はご本人、ご家族の希望を聞き、できるだけ希望に沿える医療支援に努めている。	本人や家族が希望される医療機関を受診することができる。協力病院からは定期的に訪問診療を受けることができ、緊急時の対応もできることで、家族の安心に繋がっている。受診後はその都度、家族へ結果を報告している。他の医療機関への受診時も情報提供を行い、連携に努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に看護師が健康チェックを行っている。日常生活での気づきや医療面などを相談し、助言や指導をいただいている。	定期的に看護師が健康チェックを行っている。日常生活での気づきや医療面などを相談し、助言や指導をいただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には家族と共に受診を行い、家族、病院と情報交換を行っている。又入院中も面会に行き、情報交換は行っている。退院後の受診等も対応している。	入院時には家族と共に受診を行い、家族、病院と情報交換を行っている。又入院中も面会に行き、情報交換は行っている。退院後の受診等も対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合については、普段からできる事できない事についてご家族に説明を行い、又会議の場でも重度化した場合について話し合いを行い、チームで支援できるように努めている。	重度化した場合については、普段からできる事できない事についてご家族に説明を行い、又会議の場でも重度化した場合について話し合いを行い、チームで支援できるように努めている。	重度化した場合や、終末期に関する指針を作成し、家族へ説明し同意を得ている。終末期には本人や家族の意向を踏まえ、医師の協力を得ながら、職員がチームで支援している。これまで3件の看取りを行った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人で救急法の研修を実施。AEDや心肺蘇生法を学び、利用者の急変時や事故発生時に備えている。急変時(誤嚥時等)についても菜のはなの看護職員が研修を行った。	法人で救急法の研修を実施。AEDや心肺蘇生法を学び、利用者の急変時や事故発生時に備えている。急変時(誤嚥時等)についても菜のはなの看護職員が研修を行った。		



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回(春・秋)避難訓練を実施。今年度は法人全体で非常水害避難訓練を行った。避難訓練には近隣住民の方に参加していただき、協力体制を築いている。	年2回(春・秋)避難訓練を実施。今年度は法人全体で非常水害避難訓練を行った。避難訓練には近隣住民の方に参加していただき、協力体制を築いている。	消防署の指導を受けながら、定期的に避難訓練を実施している。運営推進会議での意見も参考に、区長を通じ、近隣住民からの協力を得ている。消防団には事業所内外を見学してもらい、協力が得られるような体制がある。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人全体で接遇向上に取り組んでいる。ご利用者の方には誇りや、プライバシーには十分に注意し対応している。	法人全体で接遇向上に取り組んでいる。ご利用者の方には誇りや、プライバシーには十分に注意し対応している。	日頃から、利用者の個性を尊重する関わりを目標とし、プライドを傷つけないケアも会議で申し合わせをしている。言葉遣いに関し、日常のケアの中で管理者が直接指導することもある。接遇に関しては事業所が特に重点を置いているところであり、研修にも積極的に参加している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の本人の希望や思いを何気ないおしゃべりを通じて聞き自己決定できる様な言葉掛けを行っている。	日々の本人の希望や思いを何気ないおしゃべりを通じて聞き、自己決定できる様な言葉掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位のペースで1日を過ごして頂けるように、利用者本人の思いや意思を大切にしている。	利用者本位のペースで1日を過ごして頂けるように、利用者本人の思いや意思を大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	就寝、起床時には更衣を行い、清潔保持に努めている。ご自分で顔を洗えないご利用者に関しては、おしぼりを準備し顔を拭いて身だしなみに注意している。	就寝、起床時には更衣を行い、清潔保持に努めている。ご自分で顔を洗えないご利用者に関しては、おしぼりを準備し顔を拭いて身だしなみに注意している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の後片付け(お盆拭きや食器拭き)等、をしていただき利用者のできる力の維持に、努めている。	食事の後片付け(お盆拭きや食器拭き)等、をしていただき利用者のできる力の維持に、努めている。	食事は併設の特別養護老人ホームの厨房で料理され、事業所での下ごしらえの機会が少ないが、定期的に料理やおやつ作りを計画し、少しでも職員と一緒に手伝ってもらえる時間を作っている。また、希望に応じて寿司やウナギなど外食を取り入れ、地域に出かけ楽しんでもらっている。職員は各ユニットに一人ずつ、利用者と同じ食事を一緒に食べているが、介護している職員も利用者に食事を楽しんでもらえるよう、話題を提供し、ゆっくりした雰囲気を作るよう配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養士の献立のもとバランスのとれた食事を提供している。又食事の量、水分量についても個々に合わせ提供し、摂取量のチェックを行っている。	併設施設の管理栄養士の献立のもとバランスのとれた食事を提供している。又食事の量、水分量についても個々に合わせ提供し、摂取量のチェックを行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。個々の状態に応じて介助をし、できない方については洗口液や義歯洗浄剤を用い、清潔が保持できるようにしている。	毎食後、口腔ケアを行っている。個々の状態に応じて介助をし、できない方については洗口液や義歯洗浄剤を用い、清潔が保持できるようにしている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、個々にあった排泄パターンでトイレ案内を行っている。オムツの方でも座位がとられる方に対しては、日中トイレ誘導を行っている。	排泄チェック表を使用し、個々にあった排泄パターンでトイレ案内を行っている。オムツの方でも座位がとられる方に対しては、日中トイレ誘導を行っている。	日中はトイレでの排泄を基本とし、チェック表によりパターンを把握し、個別の排泄支援を実施している。おむつを使用している方が、誘導により、トイレでの排泄が可能となった事例もあり、職員の自立支援への意識が高い。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を使用し、毎日確認を行っている。自然排便を促す為に、牛乳の提供や水分摂取に努めている。	排泄チェック表を使用し、毎日確認を行っている。自然排便を促す為に、牛乳の提供や水分摂取に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個々の状態に応じ、無理強いをせず、ご利用者の気分に合わせて、いつでも入浴できるように支援している。又利用者の希望も考慮し、できる範囲で対応している。(重度化したご利用者については、特浴で対応している)	個々の状態に応じ、無理強いをせず、ご利用者の気分に合わせて、いつでも入浴できるように支援している。又利用者の希望も考慮し、できる範囲で対応している。(重度化したご利用者については、特浴で対応している)	利用者の希望や気分によって、入浴支援をしている。希望があれば毎日でも入浴できる。入浴されない日には清拭をし、清潔保持に努めている。入浴を拒まれる方には時間を置いたり、誘導の工夫でできるだけ入っただけ入っている。利用者の身体機能の低下により特殊浴槽を導入し、安全にゆっくりと入れ、職員の負担も軽減した。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前、午後共に本人のペース、状態に応じて休息していただいている。寝具については枕の高さを調節し、快適な睡眠がとれるように支援している。	午前、午後共に本人のペース、状態に応じて休息していただいている。寝具については家で使用したものを使用され、快適な睡眠がとれるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員が行っている。薬の内容については、ファイルに綴りいつでも確認できるように対応している。薬の服薬介助時は職員複数で確認を用い、誤薬や未薬がないように努めている。	服薬管理は職員が行っている。薬の内容については、ファイルに綴りいつでも確認できるように対応している。薬の服薬介助時は職員複数で確認を用い、誤薬や未薬がないように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の状態に応じて役割分担を行い、それぞれにあった対応をしている。希望があれば行事計画を立案し、外出支援を行い気分転換の支援をしている。	個々の状態に応じて役割分担を行い、それぞれにあった対応をしている。希望があれば行事計画を立案し、外出支援を行い気分転換の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月の季節に応じた行事や買い物等を行っている。又病院受診、美容室、ドライブ等ご家族の協力も得ながら支援している。	毎月の季節に応じた行事や買い物等を行っている。又病院受診、美容室、ドライブ等ご家族の協力も得ながら支援している。	毎月ドライブを計画し、花見、ひな祭り見学、初詣等に出かけ、季節を感じていただいている。気候により、近隣の散歩に出かけ、買い物は希望により個別に出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物等できるように支援しているが、支払いや管理は職員が行っている。	買い物等できるように支援しているが、支払いや管理は職員が行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はご家族からかかってくる事はあり、ご利用者が希望があれば、電話をかける支援をしている。	電話はご家族からかかってくる事はありますが、かける機会はほとんどない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音、光、温度等は十分留意している。居心地よい雰囲気作りに努めている。又窓の外を見て季節を感じて頂いたり、フロアに季節の花を飾っている。	音、光、温度等は十分留意している居心地よい雰囲気作りに努めている。又窓の外を見て季節を感じて頂いたり、フロアに季節の花を飾っている。	リビングは、広く明るい。其々にソファでゆっくりくつろげる環境である。清掃にも力を入れており清潔感がある。利用者の作品を飾り、季節の掲示物や花を活け、季節感を出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファや玄関先のベンチがあり、思い思いに過ごせるような居場所の工夫を行っている。	フロアのソファや玄関先のベンチがあり、思い思いに過ごせるような居場所の工夫を行っている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所される際使い慣れた家具等を持ってこられ配置や飾りなど家族がされている。	入所される際使い慣れた家具等を持ってこられ配置や飾りなど家族がされている。	入居時には安心して過ごせるように馴染みの物を持参してもらっている。本人の作品や、家族写真を飾り、個性のある落ち着いた空間づくりを心がけている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室、トイレ、お風呂等分かれる方がほとんどであるが、分かれられない方に対しては、言葉掛けを行い対応している。トイレは分かれるようにトイレと掲示している。	自室、トイレ、お風呂等分かれる方がほとんどであるが、分かれられない方に対しては、目印(トイレの札・居室扉に名前の札)を貼ったり、言葉掛けを行い対応している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
		○	○	2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)			1. 毎日ある
		○	○	2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない